

国語

第6学年

育成を目指す資質・能力

【論理的思考力・判断力・表現力】【知識・技能】  
【協働する力】

単元名

## 盛りあが(阿賀)ろう！実現！原っ子のまちづくり

～プレゼンで地域に発信！原っ子の考える未来のまち「ふるさと阿賀」～

【単元の概要】

総合的な学習の時間の取組「盛りあが(阿賀)ろう！実現！原っ子のまちづくり」をきっかけに、まちづくりについて興味・関心を持ち、自分達が住む阿賀地区の未来のまちの姿について考えをまとめ、構成を工夫したり資料を活用したりして、説得力のあるプレゼンテーションを作成していきます。

学習指導要領における領域・内容

A 話すこと・聞くこと イ  
C 読むこと ウ

他教科等との関連

総合的な学習の時間, 社会, 算数

◆単元の目標

- ・ 提案内容が明確に伝わるよう、事実と感想、意見とを区別したり、必要な文言や数値などを引用、図解したものを提示したりするなど構成を工夫し、場に応じた適切な話し方で話すことができる。
- ・ まちづくりに係るプレゼンテーションのスライドを作るという目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨を把握し、自分の考えを明確にしながらか読むことができる。

◆単元の展開（全13時間）

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<p><b>課題の発見（単元前）</b></p> <p>昨年度のまちづくりイベントについて語り合う。</p> <p>昨年度のまちづくりイベントを開催した中学校1年生や参加者のまちづくりに対する思いを調べる。</p> 	<p>【総合的な学習の時間】</p> <p>○去年の6年生のまちづくりイベントは楽しかったね。ほくたちもやってみたいな。 ○なぜ、イベントをしたんだろう。</p> <p>「昨年度のまちづくりのイベントをきっかけに、まちづくりに興味・関心をもつ。」</p> <p>○自分達も先輩の「よりよいまちにしたい」という思いを引き継ぎ、地域の人々の思いを受けて阿賀のまちづくりに関わっていききたいな。 ○国語の教科書に「まちづくり」のことが書いてある説明文があったよ。</p> <p>「自分達にできるまちづくりを考える中で、地域の人の思いや、昨年度のまちづくりイベントのよさや課題を知り、自分達もバージョンアップしたまちづくりイベントを開催して「まち」を盛り上げたいという思いを抱く。」</p>	<p>■昨年度のまちづくりイベントの開催時の写真や動画、新聞記事等を見せて想起させる。</p> <p>■昨年度のまちづくりイベントを開催した中学校1年生へのインタビューや、イベント参加者のアンケートから、自分達のまちづくりに対する思いをふくらませるようにする。</p>
<p><b>情報の収集（2）</b></p> <p>まちづくりの考え方を学ぶという目的意識をもって教材を読む。</p>	<p>○「町の幸福論」に述べられているまちづくりの考え方は、参考になるね。 ○筆者の伝えたいことは二つあるんじゃないかな。 ○まちづくりで重要なことは、「地域の住民が主体的に取り組むこと」、「未来のまちのイメージをもつこと」だよな。 ○「バックキャスト」の考え方を使得、私達も阿賀のまちづくりについて考えてみよう。</p> <p>「筆者の考え方を理解するとともに、自分達の目指すまちやまちづくりについて考えを深めている。」</p>	<p>【社会】社会科で学んだ身近な地域や市について調査する学習活動を想起させる。</p> <p>【総合的な学習の時間】収集した情報を整理・分析した後、阿賀のまちの未来の姿をイメージし、自分達にできることを考える。 「昨年度のまちづくりイベントをバージョンアップしたイベントにしよう」という課題を設定する。</p> 

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<b>課題の設定 (1)</b>		
<p>自分達の考えるまちづくりについて、イベント参加者に伝える表現方法を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分達の考える阿賀のまちの未来の姿について、参加する方に伝えたいね。どんな方法で伝えようか。</li> <li>○大事な言葉を効果的に伝えたいね。数値は、一目で分かるようにグラフで表したいな。</li> <li>○「AGAi」の皆さんが見せてくださったプレゼンテーションがいいんじゃない？</li> <li>○でも、どうやって作ればいいのか。何かヒントになるものはないかな。</li> <li>○国語の教科書「町の幸福論」にあるプレゼンテーションの作り方が参考になりそうだね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■表現方法を絞る際、まちづくりイベントの中で伝えるという条件を示す。</li> <li>■教科書に掲載されているプレゼンテーションの例を教師が実際に行い、学習のゴールイメージがもてるようにする。</li> </ul>
<p>プレゼンテーションで「自分達の考える未来のまちの姿」と「今やろうとしていること(提案)」について伝えるという課題を設定している。</p>		
<p><b>私たちの考えるまちづくりについてプレゼンテーションで伝えよう！</b></p>		
<b>情報の収集 整理・分析 (4)</b>		
<p>プレゼンテーションを作成するという目的意識をもって再度教材文を読む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筆者の文章をプレゼンテーションのスライドにしたら…。</li> <li>○全部で何枚のスライドにしたらよいか。</li> <li>○スライドにするためには、大事な言葉を使って短くまとめないといけないね。</li> </ul>	
<p>自分たちが考える未来のまちの姿やまちづくりについて、プレゼンテーションの構成を考える。</p>	<p>プレゼンテーションの構成をスライドにまとめる方法について理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■プレゼンテーションの作り方を学ぶために、教材文でプレゼンテーションのスライドを作るという目的に応じて、筆者の考えを文章の構成に沿って整理させる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分たちの考える未来のまちの姿やまちづくりについて地域の人に納得してもらえるように、筋が通る流れにしたいね。</li> <li>○まちの課題とその原因、解決方法の三つがつながっていた方が分かりやすいね。</li> <li>○地域の人を私達のプレゼンテーションに引き付けるには、どんな構成にするといいかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■これまでに学習した説得力のある意見文の構成について想起させる。</li> <li>■「接続詞の分類表」を提示し、接続詞を補いながら、スライドの項目のつながりを考えさせる。</li> <li>■協働し思考が深められるよう、思考ツールの「短冊」を使って、項目を並べ替えさせる。</li> </ul>
<p>学級で一本のプレゼンテーションにまとめるため、より説得力のある構成について話し合う。</p>	<p>目的や相手を意識して、自分の考えがよく伝わる表現になるよう、どんな工夫ができるか考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学級で一本のプレゼンテーションにまとめるという目的を明確にすることで、グループで助言し合って改善するという活動に必然性をもたせる。</li> <li>■各グループで考えた構成を「①順序②効果③つながり」という観点で、異グループ間で話し合わせる。</li> <li>■一人一人が話し合いに参加できるように、ジグソー的な学習形態を工夫する。</li> <li>■他のグループからの助言を受け、グループごとに構成等について再検討させる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まちの人達にインタビューして分かった「活気があるまちにしたい」という願いを入れようかな。(効果)</li> <li>○教科書にあった「バックキャスト」のような流れにしてはどうか。(つながり)</li> <li>○先に未来のまちの姿を述べて、最後にもう一度述べる双括型にすると、伝えたいことがより強調されていいんじゃないかな。(順序)</li> <li>○最初は聞き手にインパクトがある方がよいから、まちのよさよりまちの課題から入るとよいのではないかな。(効果)</li> <li>○スライドとスライドのつながりはどのようにつけたらいいのだろう。</li> <li>○「未来のまちの姿」、「現状」、「課題」、「原因」、「解決方法」、「事例」、「提案」という構成に決めよう。</li> </ul>	
<p>プレゼンテーションの構成について複数の観点から分析している。</p>		

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<p style="text-align: center;"><b>まとめ・創造・表現 (4)</b></p> <p>発表原稿を書き、プレゼンテーションの資料を基に、助言し合いながら発表練習を行う。</p>  <p>プレゼンテーションの資料や発表原稿の修正を行う。</p>	<p style="text-align: center;">←</p> <p>○解決方法の部分なんだけど、意見の根拠が分かりにくいよ。事実を基にするといいね。 ○総合的な学習の時間で調べた数値や写真も入れると説得力があるね。 ○まちづくり推進協議会の〇〇さんの言葉も引用するといいね。 ○課題と解決方法がうまくつながるためには、課題の原因と解決方法が合っていないといけないね。 ○相手の反応も確かめながら、間をあけて話そう。</p> <p>学級で決めたプレゼンテーションをよりよいものにしていこうという意欲をもって練習を行っている。</p> <p>○資料をもう一度見直してみると、数値が分かりにくかったよ。それで、地域の方の行事への参加状況を円グラフに入れたよ。 ○写真にキャプションを付けて、出典を明らかにしたよ。説得力が増したね。</p> <p>アドバイスの内容を基に、資料や発表原稿をよりよいものに修正している。</p>	<p>【総合的な学習の時間】必要な情報を収集し、パソコンを使ってスライドを作成する。</p>  <p>■原則1人1スライドを担当させ、個々の児童に役割をもたせる。 ■助言は「①順序②効果③つながり」の3観点に基づいて行うよう指示する。</p> <p>【総合的な学習の時間】「AGA in」の方から、発表についてのアドバイスを受ける。</p> <p>【算数】算数科における表とグラフを作成する学習活動を想起させる。</p> <p>■アドバイスを基に、客観的な視点で修正ができるようにする。</p>
<p style="text-align: center;"><b>実行 (1)</b></p> <p>まちづくりイベントの冒頭でプレゼンテーションを行い、自分達の考えるまちづくりについて発信する。</p> 	<p>○プレゼンテーションをうなずきながら一生懸命聞いてくださっている方がいらっしゃって、とてもうれしかった。 ○参加者に伝わるように、間を開けたり強調したりして話せたよ。 ○まちのよさや課題を理解し、ほくたちの考えるまちづくりに賛同してくれる人が増えればいいな。</p> <p>相手の反応を確かめながら自分の考えを明確に伝えられたことについて達成感をもっている。</p>	<p>【総合的な学習の時間】まちづくりイベントを実行する。</p> <p>■まちづくりイベントで、児童の考えるまちづくりについて発信する場を設定する。</p> 
<p style="text-align: center;"><b>振り返り (1)</b></p> <p>単元の学びを振り返るとともに、今後に生かしていきたいことを考える。</p>	<p>○自分達の考えるまちづくりについて地域の方に納得してもらえたことができたね。プレゼンテーションをしてよかったね。 ○プレゼンテーションの力は、他の場面でも何かを説明するときに役立つな。</p> <p>視覚的に分かりやすく伝えることができるプレゼンテーションのよさ、表現や構成を工夫して話すことを今後も生かしていこうとする。</p>	<p>■「論理的思考力・判断力・表現力」「協働する力」の視点により、振り返りを書かせる。</p>

### 【児童生徒の変容】

年度当初、発表等で自分の考えを分かりやすく伝えている児童は、学級の約半数程度であった。本単元のプレゼンテーションの構成を考える学習においても、「どのような内容を取り上げるか」、「どのような順序で話すか」に対し、考えをもちにくい児童が相当数見られた。そこで、思考過程を視覚化するため思考ツールである短冊を活用したり、事実・感想・意見を区別したりした結果、どの児童も自分なりの構成が考えられるようになり、最終的に学級でまとめたプレゼンテーションは、構成の効果も考え、説得力のあるものに仕上がった。また、異なる意見を受け入れながら自分の意見を伝えることに課題が見られた児童も、「自分の考えが一番よいと思っていたけど、友達のプレゼンの構成を聞くと心が動きました。しっかりと考えを伝え合い、折り合いをつけながらまとめていくことは大切だと思いました。」と、振り返りに記述することができた。このような学習を積み重ねる中で、「論理的思考力・判断力・表現力」、「協働する力」が高まったと考える。